

前立腺がんの診断率20～40%向上

MRI—超音波融合画像による3D前立腺生検システムを導入しました

このたび当院では、MRI—超音波融合画像診断システムを導入しました（大津医療圏では初、県内で2番目）。

これにより従来の方法よりも精度の高い前立腺針生検が可能となります。

ターゲットを特定、身体的・経済的負担軽減に

従来の前立腺針生検では、がんが疑われる部位の正確な位置を把握することが難しく、まんべんなく複数個所に生検針を刺して組織の採取を行っていました。今回導入したシステムでは、事前に撮影したMRI画像で、ターゲット（がんが疑われる部位）をあらかじめ特定し、生検針を刺す際の超音波画像上にMRI画像を重ね合わせた（融合させた）画像を描出することが出来るため、穿刺すべき場所の特定とピンポイントでの穿刺・組織採取が可能となります。これにより20～40%のがん診断率の向上が見込まれると報告されています。また、再度の針生検を行う確率が下がり、患者さんの身体的・経済的負担も軽減されます。

効率よく正確な組織採取と診断を保険診療で

令和4年度診療報酬改定にて、MRI撮影と超音波検査の融合画像による3D前立腺生検法が保険適用となりましたので、この検査は通常の保険診療として受けていただくことができます。

このシステムを用いて効率良く、かつ正確に組織採取と診断を行い、がん病巣の診断率向上と早期発見・早期治療へと繋げていき、これまで以上の質の高い医療を提供します。



多くの方に選択肢を。 前立腺肥大症の手術治療

経尿道的水蒸気治療を導入しました

このたび当院では、滋賀県下で初めて「経尿道的水蒸気治療」を導入しました。

これにより前立腺肥大症の手術をためらわれていた方や諦められていた方にも手術治療という選択肢を広げることができます。



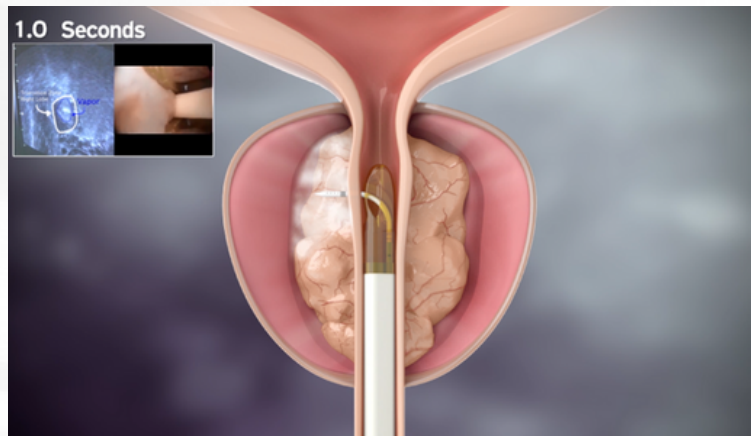
前立腺肥大症と従来の手術によるリスク

前立腺肥大症は、排尿困難などの症状を引き起こす病気であり、薬物治療で治療効果が不十分な場合、手術治療が行われます。従来の手術には、経尿道的前立腺切除術やホルミウムレーザー前立腺核出術など様々な術式がありますが、手術時間の長さや出血リスクのため手術が難しい方もいらっしゃいます。しかし、経尿道的水蒸気治療はそのような患者さんへの新たな選択肢となります。

経尿道的水蒸気治療の特性と実績

経尿道的水蒸気治療は、内視鏡下に前立腺の肥大した腺腫に水蒸気を高圧で対流させることにより熱変性をおこし、肥大箇所を縮小させることで、排尿状態を改善します。

最大のメリットは、侵襲が少ないことです。当院で行った初期3例の平均手術時間も18分



と短く、出血もほとんど認められないなど、患者さんの負担が少ない治療となっております。また、排尿症状スコアの改善を認めており、尿閉の改善や最大尿流率の増加も認めました。海外では長期成績も明らかになっており、5年での再手術率4.4%、薬物での再治療率11.1%、排尿症状も長期に改善が示されています(1)。

(1)McVary KT, et al. J Urol. 2021;206(3):715-24.

地方独立行政法人 市立大津市民病院

住所：滋賀県大津市本宮二丁目9番9号

TEL：077-522-4607（代表）



市立大津市民病院
Otsu City Hospital